



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 スズデン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7480 URL <https://www.suzuden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 篤史
 問合せ先責任者 (役職名) iクリエイト部長 (氏名) 安岳 宗吉 (TEL) 03-6910-6801
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,273	△13.1	641	△25.8	766	△22.6	505	△23.2
2019年3月期第2四半期	24,477	3.5	864	10.9	990	8.3	657	8.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 503百万円(△17.6%) 2019年3月期第2四半期 610百万円(△2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	36.35	—
2019年3月期第2四半期	47.38	47.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	25,354	16,053	63.3	1,154.82
2019年3月期	28,266	17,093	60.5	1,229.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,053百万円 2019年3月期 17,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	110.00	120.00
2020年3月期	—	18.00			
2020年3月期(予想)			—	52.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,400	△5.5	1,180	△25.8	1,450	△20.6	950	△28.8	68.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	14,652,600株	2019年3月期	14,652,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	750,859株	2019年3月期	750,859株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	13,901,741株	2019年3月期2Q	13,882,051株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における当社グループを取り巻く景況は、米中貿易摩擦の長期化等が影響し、国内経済においても輸出や生産活動は弱含みで推移しました。

当社グループでは、主力販売先である電気機器・電子部品・産業機械業界において設備投資に慎重な姿勢が続いており、半導体製造装置関連の主要顧客では、海外の半導体メーカーでのロジック関連の先行投資があったものの生産および設備投資の調整局面が続いた結果、売上高は低調に推移いたしました。

こうした環境の中、当社は地域密着・顧客重視の営業体制のもと、人手不足や生産性向上といった顧客課題に対して、自動化・省力化に向けた提案営業を展開し売上確保に努めるとともに、業務の効率化ならびに経費の見直し等による経費削減に取り組んだことにより、利益面においては期初業績予想を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,273百万円(前年同四半期比13.1%減)、営業利益は641百万円(前年同四半期比25.8%減)、経常利益は766百万円(前年同四半期比22.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は505百万円(前年同四半期比23.2%減)と前年同四半期に比べ減収減益となりました。

また、当社グループの商品分野別の売上高につきましては、次のとおりであります。

① F A 機器分野

温度調節器、駆動機器等が増加しましたが、センサー、表示機器等が減少し、売上高は12,081百万円(前年同四半期比15.5%減)となりました。

② 情報・通信機器分野

システムラック、UPS等が増加しましたが、F A コンピューター、ルーター等が減少し、売上高は1,981百万円(前年同四半期比15.9%減)となりました。

③ 電子・デバイス機器分野

基板、電池関連商品等が増加しましたが、コネクタ、基板用電源等が減少し、売上高は2,283百万円(前年同四半期比12.6%減)となりました。

④ 電設資材分野

BOX、電線等が増加しましたが、LED照明、ケーブルアクセサリ等が減少し、売上高は4,927百万円(前年同四半期比5.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,911百万円減少し、25,354百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,040百万円減少し、19,457百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少521百万円、受取手形及び売掛金の減少851百万円、電子記録債権の減少707百万円、有価証券の減少704百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて128百万円増加し、5,897百万円となりました。

これは主に、会計方針の変更によるリース資産の増加208百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて1,871百万円減少し、9,300百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,544百万円減少し、7,108百万円となりました。

これは主に、電子記録債務の減少743百万円、短期借入金 of 減少363百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて327百万円減少し、2,191百万円となりました。

これは主に、会計方針の変更によるリース債務の増加193百万円、長期借入金の減少479百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,039百万円減少し、16,053百万円となりました。

これは主に、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上505百万円、配当金の支払1,542百万円によるものであります。なお、自己資本比率は63.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から1,223百万円減少し、3,947百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は1,204百万円の増加となりました。（前年同四半期における資金は719百万円の増加）

これは主に、税金等調整前四半期純利益766百万円、売上債権の減少1,557百万円の増加要因、仕入債務の減少830百万円、法人税等の支払額273百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は23百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は35百万円の減少）

これは主に、有形固定資産の取得による支出15百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2,398百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は395百万円の減少）

これは主に、長期借入金の返済による支出842百万円、配当金の支払額1,542百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において売上高はおおよそ計画通りに推移いたしました。2020年3月期下期以降も、当社グループの主力販売先であります電気機器・電子部品・産業機械業界における設備投資需要は引き続き慎重な姿勢が継続しております。特に半導体製造装置関連の主要顧客におきましては、一部で次世代技術への先行投資が行われるなど回復の兆しはあるものの、市場環境は不透明な状況が続いております。

以上の要因から、2020年3月期通期の業績予想については、2019年8月5日に「2020年3月期第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」で公表いたしました予想数値から修正はありません。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により変動する場合があります。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,490,178	3,968,493
受取手形及び売掛金	10,693,667	9,842,420
電子記録債権	2,780,620	2,073,120
有価証券	2,106,955	1,402,512
商品	2,172,463	1,900,102
その他	256,342	273,097
貸倒引当金	△2,680	△2,370
流動資産合計	22,497,546	19,457,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,663,850	1,615,375
土地	1,909,493	1,909,493
その他(純額)	75,384	273,824
有形固定資産合計	3,648,728	3,798,693
無形固定資産	72,452	77,512
投資その他の資産		
その他	2,086,374	2,059,097
貸倒引当金	△38,787	△38,037
投資その他の資産合計	2,047,586	2,021,059
固定資産合計	5,768,767	5,897,266
資産合計	28,266,314	25,354,642
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,670,131	3,581,495
電子記録債務	2,589,554	1,846,417
短期借入金	1,113,966	750,828
未払法人税等	309,354	271,301
賞与引当金	238,981	247,277
役員賞与引当金	91,000	38,500
その他	640,097	373,166
流動負債合計	8,653,086	7,108,986
固定負債		
長期借入金	1,255,979	776,879
役員株式給付引当金	25,569	31,144
退職給付に係る負債	1,031,444	1,008,329
その他	206,479	375,305
固定負債合計	2,519,472	2,191,658
負債合計	11,172,559	9,300,645

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,527,493	1,527,493
利益剰余金	14,345,604	13,308,154
自己株式	△648,286	△648,286
株主資本合計	17,044,041	16,006,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,738	46,495
為替換算調整勘定	11,638	5,240
退職給付に係る調整累計額	△8,664	△4,330
その他の包括利益累計額合計	49,713	47,405
純資産合計	17,093,755	16,053,997
負債純資産合計	28,266,314	25,354,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	24,477,826	21,273,250
売上原価	20,912,863	18,058,224
売上総利益	3,564,962	3,215,026
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	271,868	246,920
給料手当及び賞与	1,069,309	1,017,064
株式報酬費用	3,718	5,575
法定福利費	185,608	178,786
退職給付費用	68,876	81,864
賃借料	118,105	188,839
減価償却費	105,098	79,230
賞与引当金繰入額	284,447	247,277
役員賞与引当金繰入額	60,970	38,500
その他	532,499	489,656
販売費及び一般管理費合計	2,700,501	2,573,714
営業利益	864,461	641,311
営業外収益		
受取利息	570	7,855
受取配当金	9,975	16,551
仕入割引	124,847	104,764
為替差益	4,193	—
その他	29,181	14,414
営業外収益合計	168,767	143,586
営業外費用		
支払利息	5,523	7,516
手形売却損	4,994	4,624
売上割引	4,500	3,516
為替差損	—	1,314
減価償却費	6,767	—
貸倒引当金繰入額	18,362	—
その他	2,564	1,702
営業外費用合計	42,712	18,675
経常利益	990,515	766,222
特別利益		
投資有価証券売却益	4,414	—
新株予約権戻入益	832	—
特別利益合計	5,247	—
税金等調整前四半期純利益	995,762	766,222
法人税、住民税及び事業税	309,771	237,515
法人税等調整額	28,212	23,325
法人税等合計	337,984	260,840
四半期純利益	657,778	505,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	657,778	505,381

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	657,778	505,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,787	△242
為替換算調整勘定	△10,445	△6,398
退職給付に係る調整額	△6,386	4,333
その他の包括利益合計	△47,618	△2,307
四半期包括利益	610,159	503,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	610,159	503,074
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	995,762	766,222
減価償却費	111,865	79,230
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,579	8,296
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△65,030	△52,500
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,718	5,575
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,560	△23,115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17,149	△1,059
受取利息及び受取配当金	△10,545	△24,407
支払利息	5,523	7,516
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,414	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,181,129	1,557,357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△376,603	269,470
仕入債務の増減額(△は減少)	△706,984	△830,772
その他	34,605	△297,614
小計	1,176,157	1,464,200
利息及び配当金の受取額	11,059	21,165
利息の支払額	△5,548	△7,384
法人税等の支払額	△461,683	△273,801
営業活動によるキャッシュ・フロー	719,985	1,204,179
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,147	△15,178
投資有価証券の取得による支出	△8,018	△8,008
投資有価証券の売却による収入	8,306	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,890	△1,223
敷金及び保証金の回収による収入	1,393	1,890
その他	—	△650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,355	△23,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△733,970	△842,238
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,776	△13,496
配当金の支払額	△671,485	△1,542,831
新株予約権の行使による株式の発行による収入	19,491	—
その他	△166	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△395,907	△2,398,566
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,610	△5,564
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	282,112	△1,223,121
現金及び現金同等物の期首残高	3,607,810	5,170,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,889,922	3,947,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が208,511千円増加し、流動負債の「その他」が16,321千円及び固定負債の「その他」が193,993千円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. その他

仕入及び販売の状況

(1)仕入実績

(単位：千円)

品目名	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同期比 (%)
F A機器	10,469,560	△19.3
情報・通信機器	1,675,032	△15.8
電子・デバイス機器	1,782,476	△18.4
電設資材	3,859,255	△6.9
合計	17,786,326	△16.5

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

(単位：千円)

品目名	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同期比 (%)
F A機器	12,081,846	△15.5
情報・通信機器	1,981,189	△15.9
電子・デバイス機器	2,283,092	△12.6
電設資材	4,927,122	△5.5
合計	21,273,250	△13.1

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。